

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.6.2	会 場	TKOいちごアリーナ	試合No.	日体大柏	18	16	21	17		72
審 判	(主)長谷川 裕	(副)二宮 隆二	黒崎 良典	A 1	成立学園	16	16	23	15		70

### 日本体育大学柏高等学校(千葉)

コーチ 野澤 亨 A・コーチ 福士勝哉 マネジャー

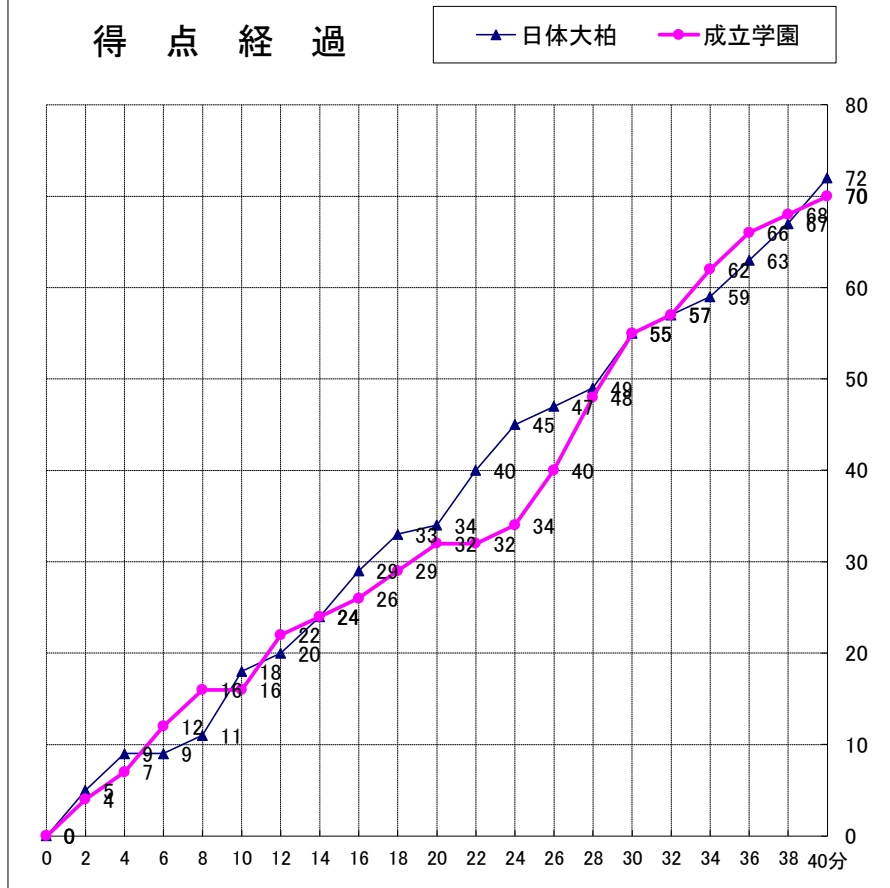
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
澤田 樹	4	8	0	3	4	10	0	0	2	2	5	7
飯塚 環	5	16	1	2	6	11	1	2	3	5	3	8
松岡龍平	6	0	0	0	0	1	0	0	4	0	1	1
小市涼太	7	6	0	2	3	8	0	0	1	2	2	4
高橋輝記	8											
高橋唯人	9											
ケイタ シェイク ボーバカー	10	19	0	0	9	15	1	2	4	1	5	6
広橋悠磨	11	2	0	1	1	1	0	0	3	1	0	1
西島来哉	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飯泉陸斗	13											
中村小太郎	14											
ダオウダ ジャキテエ	15	16	0	0	6	16	4	6	2	4	7	11
渡辺優介	16	2	0	0	1	3	0	0	3	0	4	4
伊藤倭麻	17	3	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0
森 友矢	18											
チーム									0	0	1	1
合計		72	2	10	30	66	6	10	22	15	28	43
		成功率	20.0%		45.5%		60.0%					

### 成立学園高等学校(東京)

コーチ 袴田 清美 A・コーチ 阿達 祥 マネジャー 一ノ瀬 晴香

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
谷 峰	4											
國井 晴太	5	4	0	0	1	3	2	4	0	0	3	3
大原 椋	6	2	0	3	1	5	0	0	0	1	0	1
高橋 幸広	7											
桑原 一樹	8											
近藤 佑哉	9	10	1	8	1	2	5	7	0	0	3	3
ケルバーリ ガウソウ	10	21	0	0	10	14	1	2	4	12	16	28
宮谷 俊希	11	11	0	1	2	3	7	8	0	2	1	3
本田 夏暉	12											
翼 海斗	13	4	0	3	2	3	0	0	0	1	1	2
水井 雄太郎	14											
水城 堅斗	15	10	1	10	2	6	3	4	3	1	3	4
鈴木 陽斗	16	2	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0
太田 都夢	17	6	0	0	3	6	0	0	3	0	2	2
中野 颯士	18											
チーム									0	2	2	4
合計		70	2	27	23	44	18	25	11	19	31	50
		成功率	7.4%		52.3%		72.0%					

### 得点経過



### 戦評

大会初戦、会場中に緊張感が漂うなか、ビッグマン対決が期待される日体大柏と成立学園の試合が幕を開けた。開始10秒、日体大柏#4澤田のドライブシュートが決まる。対する成立学園は#17太田の力強いレイアップでやり返す。ハーフコートマンツーマンでしっかりと守る両チーム。第1ピリオドは、18対16日体大柏リードで終えた。第2ピリオド、開始早々、成立学園がスティールからの速攻で同点とする。日体大柏は固い守りからの#10ケイタ、#5飯塚が得点を稼いで点差を広げようとするが、成立学園も負けじと喰らいつく。激しい攻防が続く、3#4対32日体大柏がリードを保つかたちで後半を迎えた。第3ピリオド、日体大柏#4澤田のドライブからのアシストで#15ダオウダが得点。そこから日体大柏の連続得点が続き、開始3分で10点差をつける。成立学園は#10が3連続得点で奮闘し、堅固な守備で流れを掴む。残り時間、わずかのところでフリースローを確実に沈め、同点で最終ピリオドへ突入する。張りつめた空気の中で試合が再開される。会場を盛り上げたのは成立学園#13、小柄ながらもタップシュートとドライブを2連続で決める。日体大柏たまたまタイムアウト。落ち着きを取り戻した日体大柏は#10を中心に得点を重ね、残り3分、日体大柏#7の3Pで逆転。その後もシーソーゲームが続き、残り時間2#5秒、日体大柏#15のバスケットカウントが決まり、日体大柏2点のリードでタイムアウト。成立学園が勝負に出るが#10のシュートはリングに嫌われ、日体大柏がそのままボールをキープし、#72対#70で日体大柏が接戦を制した。最後まで手に汗握る戦いぶりを繰り広げた成立学園。その頑張りに大きな拍手を送りたい。

記入者 小山 幸宏